

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年1月18日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座5		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	60名	募集期間	令和6年9月27日から令和6年11月30日
参加者数	122 名 対面41名、オンライン27名 サテライト54名 ※サテライト会場5箇所	参加費用	無料
講師 等	理化学研究所 革新知能行動センター 認知行動支援技術チーム チームリーダー 兼 NPO 法人 ほのぼの研究所 代表理事・所長 大武 美保子 氏		
実施内容	内容:認知症発症を遅らせる AI ～「脳が長持ちする会話」を助ける会話支援ロボットの開発～ 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時55分 講演(休憩10分含) 午後3時55分～午後4時 アンケート記入、閉演  大武講師  共想法の様子 ※サテライト会場(5施設)・・・旭市民会館、千葉市長作公民館、緑が丘公民館、みつわ台公民館、千葉市生涯学習センター		
参加者アンケート	【満足度92%】 ○認知症は病気だから薬で治すと思っていましたが、身近なことから自分がアプローチしていくことが大切だと感じた。 ○認知症予防のための会話支援手法(共想法)は、難しいものではなく誰でも取り入れられる会話手法であるため、機会を見つけて取り組んでみたいと思う。また、共想法に		

	立脚した会話・対話支援システムおよびロボットについては、とても興味をそそられる研究だと思った。 ○AIを使って人間の機能を伸ばしていく、高齢者の機能の低下を防ぐことは大変なことであることを理解できた。しかし、まだまだ発展途上であるとも感じられた。新しいことに取り組む気持ちを持ち続けてほしいと思う。 ○AI の調子が悪く物足りなく感じた。事前準備をしっかりしてほしい。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「認知症」をテーマに認知症予防のための会話支援手法「共想法」について実演を交えて説明していただき、受講者から92%の満足度を得られた。 ・オンライン配信については、実演の様子が見えるようにカメラの配置、構図を工夫することができた。 【課題・今後の方向性】 ・講演については講師が準備した AI ロボットがうまく機能せず、講演時間中に空白の時間を作ってしまった。講師が準備したものとはいえ、運営側として事前にロボット動作の確認を行う等の措置が必要だったと感じた。 ・講演とは別に書籍の販売、動画サイトの投稿等講師側の要求があった。要求に応じられるよう連絡を密に取り合うことが大切である。